

国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構が達成すべき業務運営に関する目標（中長期目標）新旧対照表

（赤字・下線部分が追加・削除箇所）

変更案（該当部分のみ）	第2期 現行目標（該当部分のみ）
<p>&lt;中長期目標&gt;</p> <p><b>I. 政策体系における法人の位置付け及び役割</b></p> <p>同戦略策定以降の量子産業の国際競争の激化等の量子技術を取り巻く環境の変化等を踏まえて策定された「量子未来社会ビジョン」（令和4年4月22日統合イノベーション戦略推進会議決定）<u>及び「量子未来産業創出戦略」（令和5年4月14日統合イノベーション戦略推進会議決定）</u>においては、量子コンピュータ、量子計測・センシング等の量子デバイスの基幹材料である高度な量子機能を発揮する量子マテリアルの研究開発や安定的な供給等の中核を担う<u>とともに、産業界が利用・試験・評価できる環境の整備・提供等を行う「量子技術基盤拠点」（令和5年4月14日発足）</u>として本法人が指定され、量子技術の基盤となる研究開発を推進する役割を果たすことが求められている。また、量子技術と生命・医療等に関する技術を融合した「量子生命科学」は、健康長寿社会を実現する上で極めて大きな波及効果が期待されており、本法人は、量子生命科学の中核を担う「量子生命拠点」（令和3年2月26日発足）として指定されている。</p> <p>（略）</p>	<p>&lt;中長期目標&gt;</p> <p><b>I. 政策体系における法人の位置付け及び役割</b></p> <p>同戦略策定以降の量子産業の国際競争の激化等の量子技術を取り巻く環境の変化等を踏まえて策定された「量子未来社会ビジョン」（令和4年4月22日統合イノベーション戦略推進会議決定）においては、量子コンピュータ、量子計測・センシング等の量子デバイスの基幹材料である高度な量子機能を発揮する量子マテリアルの研究開発や安定的な供給等の中核を担う「<u>量子機能創製拠点</u>」（令和4年5月26日発足）として本法人が指定され、量子技術の基盤となる研究開発を推進する役割を果たすことが求められている。また、量子技術と生命・医療等に関する技術を融合した「量子生命科学」は、健康長寿社会を実現する上で極めて大きな波及効果が期待されており、本法人は、量子生命科学の中核を担う「量子生命拠点」（令和3年2月26日発足）として指定されている。</p> <p>（略）</p>

変更案 (該当部分のみ)	第2期 現行目標 (該当部分のみ)
<p>「2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」(令和2年12月25日成長戦略会議決定)、「第6次エネルギー基本計画」(令和3年10月22日閣議決定) <u>及び「フュージョンエネルギー・イノベーション戦略」(令和5年4月14日統合イノベーション戦略推進会議決定)</u>には、核融合に関する取組が明示的に位置付けられている。本法人は、引き続き、国際協定等に基づく核融合の国際共同研究開発を着実に推進していくことが求められる。また、「持続可能な開発目標(SDGs)」(平成27年9月27日国連持続可能な開発サミット採択)をはじめとして、持続可能な社会の実現に向けた取組が国際的にも重視される中、本法人としても、環境に優しい次世代材料・デバイスや資源循環技術等の開発等を通じて、持続可能な社会の実現に貢献することが期待される。</p> <p>Ⅲ. 研究開発の成果の最大化その他の業務の質の向上に関する事項</p> <p>1. 量子科学技術等に関する研究開発</p> <p>(1) 量子技術の基盤となる研究開発</p> <p>(略)</p> <p>我が国の経済成長を支える生産性革命や新産業創出等に向けて、<u>量子技術基盤拠点</u>として、高度な量子機能を発揮する量子マテリアルの研究開発・安定的供給基盤の構築を推進する。また、量子機能創製分野の中核拠点として、国際競争力強化に向けた取組を推進するとともに、量子マテリアルの研究開発段階から産業応用までを繋ぐハブとし</p>	<p>「2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」(令和2年12月25日成長戦略会議決定) <u>や</u>「第6次エネルギー基本計画」(令和3年10月22日閣議決定)には、核融合に関する取組が明示的に位置付けられている。本法人は、引き続き、国際協定等に基づく核融合の国際共同研究開発を着実に推進していくことが求められる。また、「持続可能な開発目標(SDGs)」(平成27年9月27日国連持続可能な開発サミット採択)をはじめとして、持続可能な社会の実現に向けた取組が国際的にも重視される中、本法人としても、環境に優しい次世代材料・デバイスや資源循環技術等の開発等を通じて、持続可能な社会の実現に貢献することが期待される。</p> <p>Ⅲ. 研究開発の成果の最大化その他の業務の質の向上に関する事項</p> <p>1. 量子科学技術等に関する研究開発</p> <p>(1) 量子技術の基盤となる研究開発</p> <p>(略)</p> <p>我が国の経済成長を支える生産性革命や新産業創出等に向けて、<u>量子機能創製拠点</u>として、高度な量子機能を発揮する量子マテリアルの研究開発・安定的供給基盤の構築を推進する。また、量子機能創製分野の中核拠点として、国際競争力強化に向けた取組を推進するとともに、量子マテリアルの研究開発段階から産業応用までを繋ぐハブとし</p>

変更案 (該当部分のみ)	第2期 現行目標 (該当部分のみ)
<p>での役割を果たし、将来の事業化を見据えて企業連携数の増加に努めるなど産学官の連携や共創を推進する。加えて、本中長期目標期間中に市場ニーズの高い量子マテリアルを安定的に生産する技術の確立を目指す。</p> <p>(略)</p>	<p>での役割を果たし、将来の事業化を見据えて企業連携数の増加に努めるなど産学官の連携や共創を推進する。加えて、本中長期目標期間中に市場ニーズの高い量子マテリアルを安定的に生産する技術の確立を目指す。</p> <p>(略)</p>
<p>3) 量子技術の基盤となる研究開発等を担う人材の育成・確保</p> <p>産学官の連携等を推進する中で、量子技術の基盤となる革新的かつ国際競争力のある研究開発や社会実装を担うリーダー、若手研究者・技術者の育成・確保を積極的・継続的に行う。また、<b>量子技術基盤拠点</b>の活動の一環として、応用先となる様々な分野の産学官の人材の参入・交流を促進する。</p>	<p>3) 量子技術の基盤となる研究開発等を担う人材の育成・確保</p> <p>産学官の連携等を推進する中で、量子技術の基盤となる革新的かつ国際競争力のある研究開発や社会実装を担うリーダー、若手研究者・技術者の育成・確保を積極的・継続的に行う。また、<b>量子機能創製拠点</b>の活動の一環として、応用先となる様々な分野の産学官の人材の参入・交流を促進する。</p>
<p><b>(3) <u>フュージョンエネルギーの実現に向けた研究開発</u></b></p> <p><b>フュージョンエネルギー (核融合エネルギー)</b> は、資源量が豊富で偏在がないといった供給安定性、安全性、環境適合性、核拡散抵抗性、放射性廃棄物の処理・処分等の観点で優れた社会受容性を有することから、持続可能な環境・エネルギーを実現するために早期の実用化が期待されている。</p> <p>引き続き、「イーター事業の共同による実施のためのイーター国際核融合エネルギー機構の設立に関する協定」(平成19年10月24日発効。以下「ITER協定」という。)に基づく「ITER計画」及び「核融合エネルギーの研究分野におけるより広範な取組を通じた活動の共同</p>	<p><b>(3) <u>核融合エネルギーの実現に向けた研究開発</u></b></p> <p>核融合エネルギーは、資源量が豊富で偏在がないといった供給安定性、安全性、環境適合性、核拡散抵抗性、放射性廃棄物の処理・処分等の観点で優れた社会受容性を有することから、持続可能な環境・エネルギーを実現するために早期の実用化が期待されている。</p> <p>引き続き、「イーター事業の共同による実施のためのイーター国際核融合エネルギー機構の設立に関する協定」(平成19年10月24日発効。以下「ITER協定」という。)に基づく「ITER計画」及び「核融合エネルギーの研究分野におけるより広範な取組を通じた活動の共同</p>

変更案 (該当部分のみ)	第2期 現行目標 (該当部分のみ)
<p>による実施に関する日本国政府と欧州原子力共同体との間の協定」(平成19年6月1日発効。以下「BA協定」という。)に基づく「核融合エネルギー研究分野における幅広いアプローチ活動」(以下「BA活動」という。)を着実に実施し、<u>フュージョンエネルギー</u>の実用化に向けた研究開発を推進する。また、21世紀中葉の原型炉運転開始を目指して、ITER・先進プラズマ研究開発・核融合理工学研究開発の成果の活用等により、原型炉建設判断に必要な技術基盤構築を進める。</p> <p>さらに、大学、研究機関、産業界等の意見や知識を集約して ITER 計画及び BA 活動に取り組むことを通じて、国内連携・協力を推進することにより、国内の他の核融合研究機関との研究成果の相互還流を進め、<u>フュージョンエネルギー</u>の実用化に向けた研究・技術開発を促進する。</p> <p><b>3. 研究開発成果の最大化のための関係機関との連携推進</b></p> <p>(1) 官民地域パートナーシップによる3 GeV 高輝度放射光施設 NanoTerasu の整備・<u>共用の推進</u></p> <p>NanoTerasu については、官民地域パートナーシップに基づき、<u>我が国が世界に誇る最先端の施設として整備・共用</u>を進める。</p> <p>令和5年度は、地域パートナー<sup>1</sup>と連携・協力しながら、新しい現象の発見・解明や新技術の創出・産業利用等に繋がる NanoTerasu の</p>	<p>による実施に関する日本国政府と欧州原子力共同体との間の協定」(平成19年6月1日発効。以下「BA協定」という。)に基づく「核融合エネルギー研究分野における幅広いアプローチ活動」(以下「BA活動」という。)を着実に実施し、<u>核融合エネルギー</u>の実用化に向けた研究開発を推進する。また、21世紀中葉の原型炉運転開始を目指して、ITER・先進プラズマ研究開発・核融合理工学研究開発の成果の活用等により、原型炉建設判断に必要な技術基盤構築を進める。</p> <p>さらに、大学、研究機関、産業界等の意見や知識を集約して ITER 計画及び BA 活動に取り組むことを通じて、国内連携・協力を推進することにより、国内の他の核融合研究機関との研究成果の相互還流を進め、<u>核融合エネルギー</u>の実用化に向けた研究・技術開発を促進する。</p> <p><b>3. 研究開発成果の最大化のための関係機関との連携推進</b></p> <p>(1) 官民地域パートナーシップによる3 GeV 高輝度放射光施設 NanoTerasu の整備<u>等</u></p> <p>NanoTerasu については、官民地域パートナーシップに基づき整備<u>等</u>を進める。<u>具体的には、地域パートナー<sup>1</sup>が基本建屋、用地等を、本法人が加速器等の整備をそれぞれ分担し整備を推進する。</u></p> <p>令和5年度は、地域パートナーと連携・協力しながら、新しい現象の発見・解明や新技術の創出・産業利用等に繋がる NanoTerasu の整</p>

変更案 (該当部分のみ)	第2期 現行目標 (該当部分のみ)
<p>整備等に取り組む。<u>具体的には、地域パートナーが基本建屋、用地等を、本法人が加速器等の整備をそれぞれ分担し整備を推進する。</u></p> <p>令和6年度以降は、<u>特定先端大型研究施設の共用の促進に関する法律（平成6年法律第78号）第5条第1項に規定する業務（登録施設利用促進機関が行う利用促進業務を除く。）等を行い、NanoTerasuの共用を促進する。具体的には、電子ビームの高安定化や加速器の長時間運転を実現し、登録施設利用促進機関とともに幅広い研究者等への施設の共用を進める。また、各ビームラインの性能を最大限活用することに加え、実験のリモート化対応等の効率化・利便化により産学官、国内外等の多様なユーザーの利用を促進することで、先端的な基礎科学研究や、革新的な材料・デバイス等の創製・産業応用を推進し、それらの成果を効果的に広報する。</u></p> <p><u>さらに、地域パートナーのビームライン増設計画とも調整しながら、第2期ビームラインの設計・整備に必要な技術開発を目的とした光学設計・光学素子評価システムの構築を行う。</u></p> <p><u>加えて、NanoTerasuが設置されている東北大学のサイエンスパーク構想とも有機的に連携するとともに、本法人が有する科学的知見、研究者ネットワーク、先端的な研究設備等の量子科学技術研究開発プラットフォームも活用することにより、産学官が一体となったイノベーション創出に繋がる施設の運用を行う。</u></p> <p><u>なお、施設の運用に当たっては、地域パートナー及び登録施設利用促進機関の協力を得て、それぞれの役割と責任の所在を明確にすると</u></p>	<p>備等に取り組む。</p> <p>令和6年度以降は、<u>産学官連携により NanoTerasu の各ビームラインの性能を最大限活用することに加え、実験のリモート化対応等の効率化・利便化により幅広いユーザーの利用を促進し、革新的な材料・デバイス等の創製・産業応用を推進する。その際、地域パートナーが整備を進めるビームラインにおいては、民間企業等による利用を中心に想定されていることを踏まえる。また、電子ビームの高安定化や加速器の長時間運転を実現するとともに、第2期ビームラインの設計・整備に必要な技術開発を目的とした光学設計・光学素子評価システムの構築を行う。</u></p> <p><u>さらに、NanoTerasuが設置されている東北大学のサイエンスパーク構想とも有機的に連携するとともに、本法人が有する科学的知見、研究者ネットワーク、先端的な研究設備等の量子科学技術プラットフォームも活用することにより、産学官が一体となったイノベーション創出に繋がる施設の運用を行う。</u></p>

変更案 (該当部分のみ)	第2期 現行目標 (該当部分のみ)
<p data-bbox="226 288 1086 368"><u>ともに、安全管理、施設管理、情報セキュリティ、データ管理及び広報等について、一元的な対応ができるよう適切な体制を整備する。</u></p> <p data-bbox="226 432 1086 512">1 一般財団法人光科学イノベーションセンター、宮城県、仙台市、国立大学法人東北大学、一般社団法人東北経済連合会</p>	<p data-bbox="1113 432 1973 512">1 一般財団法人光科学イノベーションセンター、宮城県、仙台市、国立大学法人東北大学、一般社団法人東北経済連合会</p>

評価軸・評価指標・モニタリング指標変更案 新旧対照表

(赤字・下線部分が追加・削除箇所)

変更案 (該当箇所のみ)	第2期 現行目標 (該当箇所のみ)
<p>(項目名) 量子技術の基盤となる研究開発 (略)</p> <p>※評価に当たっては<u>量子技術基盤拠点</u>としての観点を含むこと。</p> <p>(項目名) <u>フュージョン</u>エネルギーの実現に向けた研究開発</p> <p>(項目名) 官民地域パートナーシップによる3 GeV 高輝度放射光施設 NanoTerasu の整備 <u>・共用の推進</u></p> <p>○3 GeV 高輝度放射光施設 NanoTerasu の整備及び高度化等に着実に取り組んでいるか。</p> <p>○3 GeV 高輝度放射光施設 NanoTerasu の<u>安定的な運転、利用促進、効果的な広報、イノベーション創出につながる施設の運用</u>等に着実に取り組んでいるか。</p> <p><u>○安全管理、施設管理、情報セキュリティ、データ管理及び広報等について、適切な体制の下で一元的に対応できているか。</u></p>	<p>(項目名) 量子技術の基盤となる研究開発 (略)</p> <p>※評価に当たっては<u>量子機能創製拠点</u>としての観点を含むこと。</p> <p>(項目名) <u>核融合</u>エネルギーの実現に向けた研究開発</p> <p>(項目名) 官民地域パートナーシップによる3 GeV 高輝度放射光施設 NanoTerasu の整備<u>等</u></p> <p>○3 GeV 高輝度放射光施設 NanoTerasu の整備及び高度化等に着実に取り組んでいるか。</p> <p>○3 GeV 高輝度放射光施設 NanoTerasu の利用促進等に着実に取り組んでいるか。</p>

<p>《評価指標》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3 GeV 高輝度放射光施設 NanoTerasu の整備及び高度化等の状況</li> <li>・ 法人が整備するビームラインの光学性能等の実現状況</li> <li>・ 3 GeV 高輝度放射光施設 NanoTerasu の <u>安定的な運転</u>、利用促進等の状況</li> <li>・ <u>3 GeV 高輝度放射光施設 NanoTerasu に関する効果的な広報の取組の状況</u></li> <li>・ <u>3 GeV 高輝度放射光施設 NanoTerasu の共用等を通じた成果の創出・社会還元</u>の状況</li> <li>・ <u>3 GeV 高輝度放射光施設 NanoTerasu の施設運用に係るマネジメントの取組の状況</u></li> </ul> <p>《モニタリング指標》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>年間運転時間</u></li> <li>・ <u>共用利用の申請件数・利用件数・利用者数</u></li> <li>・ <u>共用利用のうち、成果占有利用の申請件数・利用件数・利用者数・利用料金収入</u></li> <li>・ <u>海外機関の利用者数等</u></li> <li>・ <u>共用利用の成果の論文化数、知財化件数</u></li> <li>・ <u>報道発表・コンテンツ発信件数、ホームページ等アクセス数・SNS フォロワー数、見学者数</u></li> <li>・ <u>研修会、講習会、報告会等の開催回数・参加者数</u></li> </ul>	<p>《評価指標》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3 GeV 高輝度放射光施設 NanoTerasu の整備及び高度化等の状況</li> <li>・ 法人が整備するビームラインの光学性能等の実現状況</li> <li>・ 3 GeV 高輝度放射光施設 NanoTerasu の利用促進等の状況</li> </ul> <p>《モニタリング指標》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>外部機関の利用件数</u></li> <li>・ 3 GeV 高輝度放射光施設を活用した外部機関との連携の件数</li> </ul>
--	--



・ 3 GeV 高輝度放射光施設 <a href="#">NanoTerasu</a> を活用した外部機関との連携の 件数	
--	--

# 国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構に係る政策体系図

## 国の政策

- ✓ 科学技術・イノベーション基本計画／量子未来社会ビジョン／量子未来産業創出戦略／量子技術イノベーション戦略
- ✓ 健康・医療戦略
- ✓ エネルギー基本計画／2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略／フュージョンエネルギー・イノベーション戦略
- ✓ 原子力災害対策指針

等

## 国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構法

### (機構の目的)

第4条 (略) 量子科学技術に関する基礎研究及び量子に関する基盤的研究開発並びに放射線の人体への影響、放射線による人体の障害の予防、診断及び治療並びに放射線の医学的利用に関する研究開発等の業務を総合的に行うことにより、量子科学技術及び放射線に係る医学に関する科学技術の水準の向上を図ることを目的とする。

## 本中長期目標期間における法人としての取組

### 経済成長

- ✓ 量子コンピュータ、量子計測・センシング等の基幹材料である高度な量子機能を発揮する量子マテリアルの研究開発、安定的な供給等
- ✓ 量子技術の基盤となる研究開発の推進

### 健康長寿社会の実現

- ✓ 量子生命科学分野の量子計測・センシング技術の確立や生命現象の解明
- ✓ がん・認知症等克服、健康寿命延伸等に向けた予防・診断・治療の統合

### 持続可能な環境・エネルギーの実現

- ✓ 国際協定等に基づく核融合の国際共同研究開発の推進
- ✓ 環境に優しい次世代材料・デバイスや資源循環技術等の開発

異分野連携・融合等による萌芽・創成的研究開発

- ✓ 放射線影響、被ばく医療に係る研究
- ✓ 基幹高度被ばく医療支援センター・指定公共機関・技術支援機関としての原子力災害対策向上等
- ✓ 官民地域パートナーシップによるNanoTerasuの整備・共用促進
- ✓ 産学官の連携による研究開発成果の社会実装等
- ✓ 国際協力の推進
- ✓ 人材の育成・確保
- ✓ 情報発信・アウトリーチ活動
- ✓ 研究環境のデジタル化及び活用促進
- ✓ 研究施設・設備等の利活用促進

## 量子科学技術研究開発機構の評価に関する評価軸等について

	研究領域等	評価軸	関連する評価指標、モニタリング指標
量子科学技術等に関する研究開発	量子技術の基盤となる研究開発	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 様々な分野の本質的な課題を解決すべく、経済・社会的インパクトが高い革新に至る可能性のある先進的な研究を実施し、優れた成果を生み出しているか。</li> <li>○ 研究開発成果を最大化するための研究開発マネジメントは適切に図られているか。</li> <li>○ 産学官の連携や共創を誘発する場の形成により、研究開発の社会実装への橋渡しとなる研究開発に取り組み、橋渡しが進んでいるか。</li> <li>○ 量子技術の基盤となる研究開発等を担う人材の育成・確保が実施できているか。</li> </ul> <p>※評価に当たっては量子技術基盤拠点量子機能創製拠点としての観点を含むこと。</p>	<p>《評価指標》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 経済・社会的インパクトの高い先進的な研究開発成果の創出状況</li> <li>・ 研究開発マネジメントの取組の状況</li> <li>・ 研究成果の社会実装や企業との共同研究など産学官の連携の状況</li> <li>・ 量子技術の基盤となる研究開発等を担う人材の育成・確保の状況</li> </ul> <p>《モニタリング指標》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 優れた成果を創出した研究課題数（論文数、TOP10%論文数）</li> <li>・ 企業からの共同研究の受入金額・共同研究件数</li> <li>・ 知的財産の創出・確保・活用の質的量的状況</li> <li>・ 人材育成の質的量的状況</li> </ul>
	健康長寿社会の実現や生命科学の革新に向けた研究開発 (量子生命科学に関する研究開発)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 量子生命科学に関する基礎的研究開発及び経済・社会的インパクトの高い革新に至る可能性のある先進的な研究開発を実施し、優れた成果を生み出しているか。</li> <li>○ 研究開発成果を最大化するための研究開発マネジメントは適切に図られているか。</li> <li>○ 産学官の連携や共創を誘発する場の形成により、研</li> </ul>	<p>《評価指標》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 経済・社会的インパクトの高い先進的な研究開発成果の創出状況</li> <li>・ 研究開発マネジメントの取組の状況</li> <li>・ 研究成果の社会実装や企業との共同研究など産学官の連携の状況</li> <li>・ 量子生命科学分野の研究開発等を担う人材の育成・確</li> </ul>

		<p>研究成果の社会実装への橋渡しとなる研究開発に取り組み、橋渡しが進んでいるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 量子生命科学分野の研究開発等を担う人材の育成・確保が実施できているか。</li> <li>○ ※評価に当たっては量子生命拠点としての観点を含むこと。</li> </ul>	<p>保の状況</p> <p>《モニタリング指標》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 優れた成果を創出した研究課題数（論文数、TOP10%論文数等）</li> <li>・ 企業からの共同研究の受入金額・共同研究件数</li> <li>・ 知的財産の創出・確保・活用の質的量的状況</li> <li>・ 人材育成の質的量的状況</li> </ul>
	<p>健康長寿社会の実現や生命科学の革新に向けた研究開発 （がん、認知症等の革新的な診断・治療技術に関する研究開発）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 革新的な診断・治療技術に関する基礎的研究開発及び経済・社会的インパクトの高い革新に至る可能性のある先進的な研究開発を実施し、優れた成果を生み出しているか。</li> <li>○ 研究開発成果を最大化するための研究開発マネジメントは適切に図られているか。</li> <li>○ 固形がん、多発・微小がん、精神神経疾患等に対する診断・治療技術の実用化への橋渡しとなる研究開発に取り組み、橋渡しが進んでいるか。</li> <li>○ がん治療に資する重粒子線治療・標的アイソトープ治療薬剤や、認知症早期診断に資する診断薬・治療薬の普及・定着に向けた取組を行い、保険収載や適応拡大に係る科学的・合理的判断に寄与しているか。</li> <li>○ がん、認知症等の革新的な診断・治療技術に関する研究開発等を担う人材の育成・確保が実施できているか。</li> </ul>	<p>《評価指標》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 経済・社会的インパクトの高い先進的な研究開発成果の創出状況</li> <li>・ 研究開発マネジメントの取組の状況</li> <li>・ 研究成果の社会実装や企業との共同研究など産学官の連携の状況</li> <li>・ 研究成果を活用した診断・治療の普及・定着やこれに向けた取組状況</li> <li>・ がん、認知症等の革新的な診断・治療技術に関する研究開発等を担う人材の育成・確保の状況</li> </ul> <p>《モニタリング指標》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 優れた成果を創出した研究課題数（論文数、TOP10%論文数等）</li> <li>・ 企業からの共同研究の受入金額・共同研究件数</li> <li>・ 知的財産の創出・確保・活用の質的量的状況</li> <li>・ 新規薬剤等開発と応用の質的量的状況</li> </ul>

			<ul style="list-style-type: none"> <li>臨床研究データの質的量的収集状況</li> <li>量子メスの社会実装に向けた進捗</li> <li>人材育成の質的量的状況</li> </ul>
	<p><u>フュージョンエネルギー核融合エネルギーの実現に向けた研究開発</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 国際約束に基づき、必要な研究開発に着実に取り組んでいるか。</li> <li>○ 原型炉開発に向けた革新的かつ先進的な研究開発を実施し、優れた成果を生み出すとともに、国際的な研究開発プロジェクトを主導できる人材育成に取り組んでいるか。</li> <li>○ 研究開発成果を最大化するための研究開発マネジメントは適切に図られているか。</li> <li>○ 原型炉開発のために産学官の連携を着実に進めるとともに、社会連携活動に取り組んでいるか。</li> </ul>	<p>《評価指標》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ITER 計画及び BA 活動の進捗の状況</li> <li>革新的かつ先進的な研究開発成果の創出状況や人材育成の状況</li> <li>研究開発マネジメントの取組の状況</li> <li>産学官の連携の状況及び社会連携活動の取組の状況</li> </ul> <p>《モニタリング指標》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>我が国の調達分担の達成度</li> <li>優れた成果を創出した研究課題数（論文数、TOP10%論文数等）</li> <li>知的財産の創出・確保・活用の質的量的状況</li> </ul>
	<p>異分野連携・融合等による萌芽・創成的研究開発</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 法人全体の各部門が連携し、法人全体が一体となり、異分野の連携・融合による研究開発を積極的かつ戦略的に推進しているか。</li> <li>○ 若手研究者等の自由な発想を生かし、独創的な研究開発等を推進しているか。</li> <li>○ 研究開発成果を最大化するための研究開発マネジメントは適切に図られているか。</li> </ul>	<p>《評価指標》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>異分野の連携・融合による研究開発の推進の状況</li> <li>若手研究者等による独創的な研究開発等の状況</li> <li>研究開発マネジメントの取組の状況</li> </ul> <p>《モニタリング指標》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>異分野の連携・融合による研究課題数</li> <li>若手研究者等による独創的な研究課題数</li> <li>競争的資金等の外部資金の獲得件数・金額</li> </ul>

放射線被ばくから国民を守るための研究開発と社会システム構築	放射線影響に係る研究と福島復興支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 放射線の健康影響に係る研究がなされているか。</li> <li>○ 放射線影響研究の成果が国際的に高い水準を達成し、公表されているか。</li> <li>○ 福島県及び周辺地域の関係機関との連携等により、放射線科学の研究開発や復興支援に協力するとともに、放射線の影響等について、わかりやすい情報発信と双方向のコミュニケーションに取り組んでいるか。</li> </ul>	<p>《評価指標》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 放射線防護・規制に貢献する放射線影響研究による科学的知見の創出及びその提供の状況</li> <li>・ 国際水準に照らした放射線影響研究の成果の創出状況</li> <li>・ 福島県及び周辺地域の関係機関への協力の状況やわかりやすい情報発信等の状況</li> </ul> <p>《モニタリング指標》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国際機関等への情報提供及び国際機関等の活動への貢献の状況</li> <li>・ メディアや講演等を通じた社会への科学的な情報発信の状況</li> <li>・ 論文数</li> <li>・ TOP10%論文数</li> <li>・ 招待総説論文数、招待講演数、受賞歴</li> <li>・ 知的財産の創出・確保・活用の質的量的状況</li> </ul>
	被ばく医療に係る研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 原子力災害医療の向上に資する被ばく医療研究がなされているか。</li> <li>○ 被ばく医療研究の成果が国際的に高い水準を達成し、公表されているか。</li> </ul>	<p>《評価指標》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 原子力災害医療の向上につながる研究成果の創出状況</li> <li>・ 国際水準に照らした被ばく医療研究の成果の創出状況</li> </ul> <p>《モニタリング指標》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研究成果の原子力災害医療への活用の質的量的状況</li> </ul>

			<ul style="list-style-type: none"> <li>論文数</li> <li>TOP10%論文数</li> <li>招待総説論文数、招待講演数、受賞歴</li> <li>知的財産の創出・確保・活用の質的量的状況</li> </ul>
	<p>基幹高度被ばく医療支援センター、指定公共機関及び技術支援機関としての原子力災害対策の向上等と人材育成</p>	<p>○ 基幹高度被ばく医療支援センター、指定公共機関及び技術支援機関としての役割を着実に果たしているか。</p>	<p>《評価指標》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>基幹高度被ばく医療支援センター、指定公共機関及び技術支援機関としての取組の状況</li> <li>原子力災害対策等を担う本法人職員の人材育成及び原子力災害医療体制の中でリーダーシップを発揮する高度専門人材の育成に向けた取組の状況</li> </ul> <p>《モニタリング指標》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国、地方公共団体等の原子力防災訓練・研修等への貢献の質的量的状況</li> <li>原子力災害医療体制の強化に向けた取組の質的量的状況</li> <li>被ばく医療分野に携わる専門人材の育成及びその確保の質的量的状況</li> <li>原子力災害対策等の改善・向上に貢献する取組の質的量的状況</li> </ul>
<p>研究開発成果の最大化のための関係機関との連携推進</p>	<p>官民地域パートナーシップによる3 GeV 高輝度放射光施設 NanoTerasu の整備・共用の推進</p>	<p>○ 3 GeV 高輝度放射光施設 NanoTerasu の整備及び高度化等に着実に取り組んでいるか。</p> <p>○ 3 GeV 高輝度放射光施設 NanoTerasu の <u>安定的な運転、利用促進、効果的な広報、イノベーション創出につながる施設の運用</u>等に着実に取り組んでいる</p>	<p>《評価指標》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>3 GeV 高輝度放射光施設 NanoTerasu の整備及び高度化等の状況</li> <li>法人が整備するビームラインの光学性能等の実現状況</li> </ul>

<p>等</p>	<p>か。</p> <p>○ <u>安全管理、施設管理、情報セキュリティ、データ管理及び広報等について、適切な体制の下で一元的に対応できているか。</u></p>	<p>か。</p> <p>○ <u>安全管理、施設管理、情報セキュリティ、データ管理及び広報等について、適切な体制の下で一元的に対応できているか。</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>3 GeV 高輝度放射光施設 NanoTerasu の安定的な運転、利用促進等の状況</u></li> <li>・ <u>3 GeV 高輝度放射光施設 NanoTerasu に関する効果的な広報の取組の状況</u></li> <li>・ <u>3 GeV 高輝度放射光施設 NanoTerasu の共用等を通じた成果の創出・社会還元の状況</u></li> <li>・ <u>3 GeV 高輝度放射光施設 NanoTerasu の施設運用に係るマネジメントの取組の状況</u></li> </ul> <p>《モニタリング指標》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>年間運転時間外部機関の利用件数</u></li> <li>・ <u>共用利用の申請件数・利用件数・利用者数</u></li> <li>・ <u>共用利用のうち、成果占有利用の申請件数・利用件数・利用者数・利用料金収入</u></li> <li>・ <u>海外機関の利用者数等</u></li> <li>・ <u>共用利用の成果の論文化数、知財化件数</u></li> <li>・ <u>報道発表・コンテンツ発信件数、ホームページ等アクセス数・SNS フォロワー数、見学者数</u></li> <li>・ <u>研修会、講習会、報告会等の開催回数・参加者数</u></li> <li>・ <u>3 GeV 高輝度放射光施設 NanoTerasu を活用した外部機関との連携の件数</u></li> </ul>
<p>産学官の連携による研究開発成果の社会実装等の推進</p>	<p>○ 産学官の連携による研究開発の推進ができているか。</p> <p>○ 産学官の共創を誘発する場を形成しているか。</p> <p>○ 研究成果の社会実装に向けて積極的な取組を推進できているか。</p>	<p>○ 産学官の連携による研究開発の推進ができているか。</p> <p>○ 産学官の共創を誘発する場を形成しているか。</p> <p>○ 研究成果の社会実装に向けて積極的な取組を推進できているか。</p>	<p>《評価指標》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 産学官の連携による研究開発の状況</li> <li>・ 産学官の共創を誘発する場づくりの状況</li> <li>・ 研究成果の社会実装の実績</li> <li>・ 他の量子技術イノベーション拠点との連携による研</li> </ul>



		○ 研究開発成果の最大化を図るため、他の量子技術イノベーション拠点との連携を推進しているか。	<p>研究開発成果の創出状況</p> <p>《モニタリング指標》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 企業からの共同研究の受入金額・共同研究件数</li> <li>・ 知的財産の創出・確保・活用の質的量的状況</li> <li>・ イノベーションハブにおける年間参画企業数</li> <li>・ 研究成果を事業活動において活用し、又は活用しようとする者への支援に関する取組の質的量的状況</li> </ul>
	国際協力の推進	○ 国際協力の推進ができていますか。	<p>《評価指標》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国際協力の推進の状況</li> </ul> <p>《モニタリング指標》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国外の関係機関等との協力取決めの締結の実績（有効な取決め保有数、取決めの新規及び更新数）</li> <li>・ 国際研究交流に係る制度等の活用実績（JSPS 外国人研究者招へい事業、文部科学省原子力研究交流制度等による受入数）</li> <li>・ 国際会議（web 開催含む）開催の実績</li> <li>・ 国際共著論文数</li> </ul>
研究開発の成果の最大化に向けた基盤的取組	人材の育成・確保（組織全体の取組等）	<p>○ 職員の能力向上を図るなど、研究開発の成果の最大化等を担う優れた人材の育成ができていますか。</p> <p>○ 外部機関からの研究員・学生等の受け入れ・研修等により、次世代の研究開発や産業等を担う人材の育成・確保ができていますか。</p> <p>○ クロスアポイントメント制度等の種々の制度を活</p>	<p>《評価指標》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職員の能力向上等による研究開発の成果の最大化等を担う優れた人材の育成の状況</li> <li>・ 外部機関からの研究員・学生等の受け入れ・研修等による次世代の研究開発や産業を担う人材の育成・確保の状況</li> </ul>

		<p>用し、研究活動の活性化を促進できているか。</p> <p>○ 中学生・高校生を含めて、将来の量子科学技術を担う人材の育成・確保に貢献できているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 種々の制度を活用した研究活動の活性化促進状況</li> <li>・ 将来の量子科学技術を担う人材の育成・確保の状況</li> </ul> <p>《モニタリング指標》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人材の育成・確保に資する各種プログラム等の質的量的状況</li> <li>・ 外部機関からの研究員・学生等の受け入れ、研修等の質的量的状況</li> <li>・ 中学生・高校生等に対する教育プログラムの実施件数や参加人数、満足度等</li> </ul>
	積極的な情報発信及びアウトリーチ活動	<p>○ 多様な機関の研究成果の活用や研究活動への参画を促進するため、研究開発成果等を多様な広報手段を用いて積極的に情報発信できているか。</p> <p>○ 国民の理解を深めるとともに、次世代人材育成・確保にも貢献するため、SNS等を活用して、分かりやすい情報発信を行うことができているか。</p>	<p>《評価指標》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 多様な機関に向けた研究開発成果等の積極的な情報発信の状況</li> <li>・ 国民向けの分かりやすい情報発信の状況</li> </ul> <p>《モニタリング指標》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ プレスリリース等の件数</li> <li>・ 施設公開や外部向けイベントなどアウトリーチ活動の件数や参加人数、満足度等</li> </ul>
	研究環境のデジタル化及び活用促進	<p>○ 研究環境のデジタル化とその活用促進が十分にできているか。</p>	<p>《評価指標》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研究環境のデジタル化・活用の状況</li> </ul> <p>《モニタリング指標》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ クラウド移行や構築件数</li> <li>・ 各種システムのユーザ数・アクセス頻度</li> </ul>
	施設及び設備等の	<p>○ 施設及び設備等の法人内外の利活用が促進できて</p>	<p>《評価指標》</p>

	利活用の促進	いるか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施設及び設備等の利活用促進のための取組の状況</li> </ul> <p>《モニタリング指標》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施設及び設備等の利活用の質的量的状況</li> </ul>
その他関連する事項		○ 業務運営の効率化を図るための取組を実施したか。	<p>《評価指標》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 業務運営の効率化を図った取組の状況</li> </ul>
		○ 最新の情報セキュリティ対策を踏まえた対策推進計画やセキュリティポリシー等の整備及びこれらに基づく取組を適切に実施したか。	<p>《評価指標》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 情報セキュリティ対策に関する適切な計画・ポリシー等の整備やこれらに基づく取組の状況</li> </ul> <p>《モニタリング指標》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職員向けのセキュリティポリシーに関する教育訓練や研修会の件数・参加人数等</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 女性の活躍や研究者の多様性も含めた戦略的な人事が実施できているか。</li> <li>○ 職員の多様性やワークライフバランスを踏まえた職場環境の整備を推進できているか。</li> </ul>	<p>《評価指標》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 女性の活躍や研究者の多様性も含めた人事に関する取組の状況</li> <li>・ 職員の多様性やワークライフバランスを踏まえた職場環境の整備に関する取組の状況</li> </ul> <p>《モニタリング指標》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 女性研究者の新規採用割合</li> </ul>